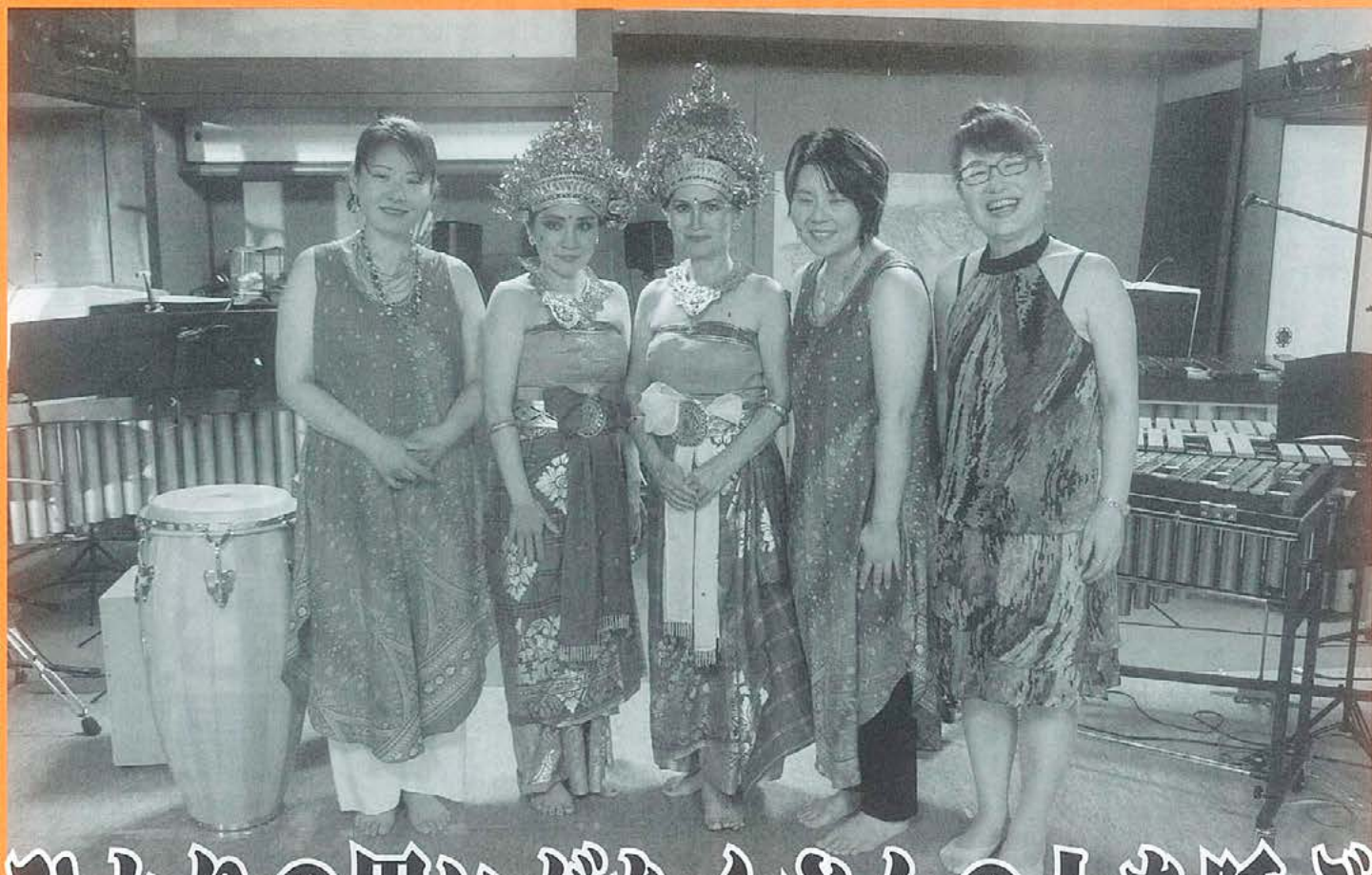


讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

文化通心

2016
秋

9月1日発行(季刊)



ひとりの思いがたくさんの人を呼ぶ

今年も源平の里、牟礼の石あかりが灯った。町ぐるみでのお接待を楽しみながら洲崎寺に行き着くと、石あかりSidetripが始まる。毎週土曜日の夜は、るいまま組の粋な劇場の幕が上がる。(9月17日まで)

あ・うんの数寄講座「茶の湯をさらに楽しむ夏期講習」
高松市・彦根市姉妹城都市提携五十周年を迎えて
9月から11月までの茶華道・イベント情報
財団のお知らせ

91

発行・公益財団法人中條文化振興財団
〒760-0017高松市番町2丁目1番12号
TEL. (087) 826-3355 FAX. (087) 826-2212

あ・うんの数寄講座

茶の湯をさらに楽しむ夏期講習

去年に引き続き、今年も特別な講師の皆様をお迎えして、五回シリーズの講習会を企画致しました。第一回は野村美術の谷晃館長に、第二回目は、千宗屋宗匠にお話を伺いました。

■第一回

得庵コレクションと野村美術館

講師・谷 晃

(野村美術館館長)

巷は昨日に参議院議員選挙を終え、候補者の名を連呼していた選挙カーがなりを潜め、妙に静かな暑い夏の気配に満ちていました。そんな、外の暑さを払い落として集まった受講生のみなさんを迎えたのは、スクリーンいっぱいに映し出された野村美術館玄関風景。いかにも茶道具展示の美術館らしい数寄屋建築のたえずまいです。

その、野村美術館館長の谷晃氏の「得庵コレクションと野村美術館」と題した講演は、美術館内部や展示品、野村別邸碧雲荘のスライド写真を取り混ぜて臨場感あふれるものでした。

野村證券を中心とした野村財閥を一代で築き上げた野村徳七氏の財界における名声はつとに有名ですが、藪内流の茶

人・野村得庵は知る人ぞ知る大茶人で、得庵にとって茶の湯は単なる趣味ではなく、能楽と事業とともに三位一体の存在だったと、まず、得庵の茶の湯に対する姿勢の披露から始まりました。その折に、古田織部ゆかりの藪内流家元入門したのは、先にお稽古を積んでいた菊子夫人の勧めによったのでは…などと、夫唱婦随ならぬ婦唱夫随、仲よし夫婦の家庭の一面を想像させる話があり、偉大なる近代数寄者の出発点にほのぼのとしたものを感じました。

それはさておき、話は続きます。

茶の湯文化学がご専門の谷館長のたくさんのお著書の中に茶会記の研究に関するものが複数あります。茶の湯の歴史や茶人の人物像など背景を把握して読み解く茶会記は、単なる記録の書付ではなく、茶事の様子をドラマチックに再現させるような深い読み方もできるということでしようか。しかし、学者の研究や分析は先人の資料があつてこそです。得庵の遺

した約五百会の自会記と約五百回の他会記もまさに一級品の資料になるわけですが、それは、他の茶人たちと同様に、後世のために書き残したわけではなく、得庵の茶の湯に対する真摯な熱心さを証明する茶会記であつたろうと思います。それにしても、招いたり招かれたりした茶会の並々ならぬ数の多さに驚くだけでなく、それぞれの茶会に対する得庵の真剣さや意気込みに圧倒されそうな記録は、得庵の研究熱心だとか、趣味の域を越した茶の湯だけの形容では済まないものを感じさせます。言わずもがなではありませんが、大企業の第一線でグループ企業の総帥としての仕事は、私たちには想像を絶する激務さを伴っていたことでしょうし、世界の経済の流れを素早く察知して大勝負をかける証券金融界において、例え、物理的に時間の捻出は可能としても、他に眼を向ける精神的なゆとりなど…と思うと、さすが、大実業家の大多数寄者と感嘆するばかりです。

感嘆と言うと他にも、位人臣を極めた豊臣秀吉になぞらえて「今太閤」を自認したとかも、単に、明治生まれの創業家の成功譚の仮託だけでなく、茶の湯と能楽を好んだ太閤・秀吉に共通する卓抜たる文化感覚が重なります。得庵自らの審美眼で蒐集した重要文化財を含む茶道具、墨蹟、絵画、能面、能装束など：質高い得庵コレクション、また、修練の心技で謡い舞った観世流「安宅(勸進帳)」を演じる得庵の弁慶像。どちらも精神が集約された形です。

話は得庵の茶の湯の特質に移り、この時期、つまり大正から昭和の戦前にかけて、男の社交場として茶の湯が盛んだった頃、財力はもちろん、美の追求、教養の研鑽、茶道の精神を会得しての主客一体、一期一会の茶会で、日本の伝統美を



体現した大名茶の湯をめざし、能の影響をうけながら研究熱心に名品主義を貫き、大胆で度胸のある蒐集態度で、何より接待上手だったと。

さらに、交友や尊敬した人の紹介。益田鈍翁、高橋箒庵、松永耳庵、住友春翠、小林逸翁、根津青山：伝説的な茶道数寄者の名がたくさん挙がりました。

そして、ふたたび、茶会の取り合わせ例として館蔵品の逸品映像がクリックされ、これらは当財団茶室二十周年記念茶会の一環として来秋に開かれる野村美術館茶会の予告という思わぬニュースに、一同、驚くと同時に、その日が待ち遠しいと隣同士思わず私語がたちました。

続いて、野村別邸碧雲荘の見どころの映像が次々と写し出され、さながら、南禅寺界限にあつて東山を借景として琵琶湖疎水を引き入れて小川治兵衛が作庭したという碧雲荘をバーチャル散策しているようなひとときでした。

以前、財団晴友会で見学訪問したみなさんにとっては、かつての感激再来、再認識しきりといったのびやかな雰囲気、話に圧倒され続けてきた緊張が溶け、ここでも又、私語が交じったり、うなづき合ったりしました。

その後、終始、穏やかにやさしく、時にはユーモアを交えて興味深い話をお聞かせいただいた谷館長を、一同の心からなる感謝の拍手でお送りし、スクリーンに戻った野村美術館の映像に余韻を感じつつの散会となりました。

■第二回

「茶碗との語らいー飲みたい茶碗 点てたい茶碗」

講師：千 宗屋

（武者小路千家家元後嗣）

土用の丑を迎えた七月三十日晴松亭にて、千 宗屋宗匠（武者小路千家家元後嗣）による講習会が行われました。

講習前には、立礼席にてお茶が振る舞われ、その床には若宗匠お持ち出しのお茶碗が三つ飾られました。一つは御陵碗、奈良時代から平安時代に作られた黒い土器のような素焼の器に高台がついていますが、しかし、高台よりお碗の底が出ていたため不安定でそこが何とも愛らしいお茶碗でした。

二つ目は、テレビでも紹介されました、若宗匠のモロッコ旅先で見つけた色絵のお茶碗、銘を新邊宿（アラバスク）とご自身で付けられ大変気に入られている様子でした。

三つ目のお茶碗は、瀬戸の筒茶碗で高台が桜高台になっている大変珍しいお茶碗でした。しかし、このお茶碗を若宗匠が手に入れたのが、平成二十三年三月十日、翌日は皆様の記憶にも新しい東日本大震災の日です。その年は、日本全体が花見をする気持ちにもなれず、静まり返った年でした。テレビで連日流れる被災地の悲惨な状況を見ながらこのお茶碗と共に冥福をお祈りしたそうです。

講習会が始まると二〇一四年四月より藝術新潮で連載されたお茶碗を中心に五つの項目に分けて説明を頂きました。ま

ずは、連載に初めて登場した御陵碗。お墓に添えられた使い捨てのお茶碗。選んだ理由は、お茶以外の人にも興味を持っていたらきお茶に興味を持って頂きたいという理由だそうです。しかし意外なところにも反応があり連載後、御陵碗の相場が上がったそうです。（笑）

連載第二回目に選んだお茶碗は、小井戸茶碗 銘五月雨（平瀬家伝来）五月号に因み選ばれたのが大きな理由。第三回目は、イタリア産のカフェオーレボール。この茶碗は、若宗匠が北イタリアに行かれた際、一ユーロで買われたとのこと。しかし、お茶道具として違和感がなく、とても使いやすいとのことでした。見立てのポイントは一見見立てと気が付かないものが良いそうです。

唐物としては、灰被天目、高麗物と思われていた、絵高麗梅鉢茶碗、梅といっても本当は七曜紋、星を表されたもの梅と言われたのは天神祭り使われるようになってからのことで、今ではなくてはならないものに。

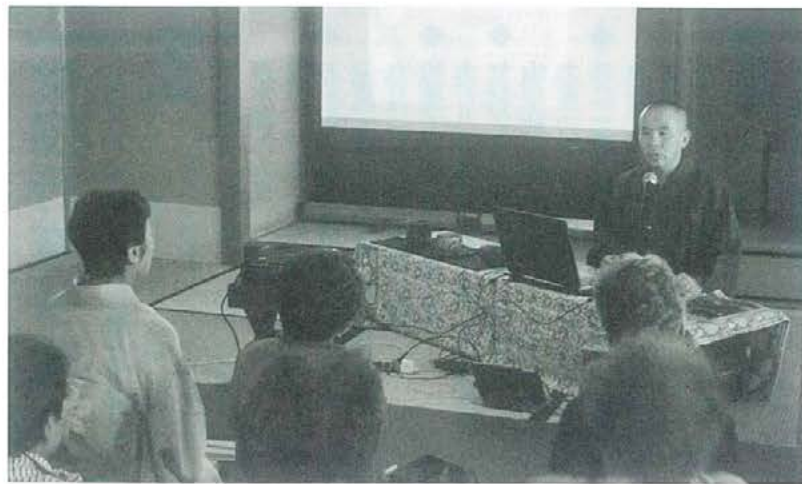
唐物の最後は、祥瑞 水玉茶碗、高麗物に移り、雲鶴筒茶碗、高麗青磁に属する茶碗。一言で雲鶴といっても古いタイプと新しいタイプの二種類あるそうです。御本手は新しいものに属します。小井戸茶碗の説明の後、井戸茶碗に近いことから、そば茶碗、蕎麦と書いていることもあり、蕎麦色であるためとも諸説あるそうです。

和物茶碗は、白天目、黄瀬戸茶碗、何といつても長次郎は、多くの方が興味を持たれたと思います。

近現代の代表は、川喜田半出泥子、そして若宗匠とも親交が深い黒田泰蔵、内田綱一。どのお茶碗の話も分かりやすく引き込まれるような時間でした。

しかし、若宗匠が挙げられたポイントとして、道具組をしてみても違和感のないもの。そして、何よりお茶のための道具であることとおっしゃられました。が、一ユーロのお茶碗からうん千万円のお茶碗まで幅広くご説明された内容を考えると納得でした。

この様なお茶碗の説明を分かり易くお話しただき感謝と共に若宗匠の魅力に触れ心弾む一日でした。





高松市・彦根市姉妹都市

提携五十周年を迎えて

高松・松平家と彦根・井伊家は、共に江戸城溜詰めの大名で別格の扱いを受けていました。井伊直弼と十代松平頼胤は思想的にも親交が厚く、養嗣子・頼聰と直弼の次女弥千代姫の縁組みが行われ、直弼は婚礼の前日に大老に就任しました。桜田門外の変の後、幕末の動乱期に入ると世情もあつて弥千代は井伊家に帰されましたが、やがて明治五年に復縁しました。そのご縁で昭和四十一年に姉妹都市提携され、今年は五十周年を迎えることとなりました。

この話を「伝説愛」として、この四月には新作オペラが玉藻公園の披露閣で上演され、七月には、高松・彦根間で婚活列車イベントが催された話は、まだ記憶に新しいと思います。

さて、井伊直弼が彦根藩主の世嗣となつたのは、この八千代姫が生まれすぐの頃で三十二歳でした。しかし、直弼が生まれた時は家督相続の順位が低く、十七歳からは部屋住みの孤独な運命で、自ら「埋木舎」と名付けた内濠の外の尾末屋敷に住み、朽ち果てぬように果敢なまでの自己鍛錬に励んだそうです。その大きな柱として茶道がありました。修行としての茶湯です。

「一期一会」という言葉は、茶人でなくてもご存知の方が多いと思いますが、これは茶人井伊直弼が残した「茶湯一会集」から生まれたというの、あまり知られていないと思いますが、直弼の茶の湯の集大成とも言える著作です。

この一期一会は、やはり直弼が大事にし



た「独座観念」という考え方の上にあります。今日の一会が終わって、二度と繰り返す事の出来ぬ貴重な一期一会であった事を観念しながら独座をせよという教えです。

また、若い時の修行時代の茶湯研究の成果として書かれた「榎尾みちふみ」では、茶の湯によって自己の内にある心の覚醒を目指す事を主張し、茶の湯の原点を遠く鎌倉時代の明恵上人まで、遡って考察しています。

ます。その他にもたくさんさんの茶道に関する著作を残しています。直弼のお茶も禅に根ざしていました。

高松藩では、松平頼重公が入府されて、利休の直系である武者小路千家の一翁宗守を茶頭に迎えました。頼重公も水戸家の嫡男と認知された十八歳の頃に茶の湯で人をおもてなしされた記録が残っています。高松に来られたのは二十一歳の時でしたが、その後五十年以上に渡って、讃岐の文化の基礎を築きました。

さらに五代頼恭公の時には、徳川本家が茶道指南役とした片桐石州の茶道も取り入れられました。当時の大名家のほとんどは石州流が中心でした。いわゆる家元制度は無く、それぞれの地域で独自に発展して現在に至っています。

中でも、松江の松平不昧公や井伊直弼は、「我が一派」を形成するまでになりましたが、大茶人として有名だった不昧公と違って、直弼の茶人としての功績が、公に知られるのは明治時代の終わり頃でした。

現在では、彦根城博物館に行くと、お城はもちろん、こうした資料も整備され、能

財団行事予定

(九月～十一月)

九月

◆書道教室 毎月第一・第三金曜日
森本義人先生

九月二日・十六日(金)午前十時～十二時
あ・うんの数寄講座
「茶の湯をさらに楽しむ夏期講習」

九月三日(土)・四日(日)
和菓子講座 高橋初乃先生

九月九日(金)午前十時～十二時
ヤングヤング(子供茶の湯講座)
山下純子先生

九月三日・二十四日(土)午前十一時～
月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

九月二十日(火)午前十時～午後四時迄
自由なお時間にお出掛け下さい。
ランチは要予約です。

十月

◆十月月鑑 五人様茶会

名残の時期、実りの秋を楽しみませんか。
日時 十月二日(日)

処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)
席主 裏千家 楽茶俱樂部

点心 県産品の特製料理 永楽亭
茶席 濃茶・薄茶・点心席

会費 五千円
入席時間(案内)各席二時間十五分を予定

第一席 A席・B席 九時
第二席 A席・B席 十時三十分

第三席 A席・B席 十一時十五分
第四席 A席・B席 十二時四十五分

第五席 A席・B席 十四時十五分
財団賞授賞式助成金交付団体認定書授与式

十月三日(月)午前十時三十分
◆懐石講座 三友居 山本勝先生
十月四日(火)午前十一時～午後三時

◆書道教室 毎月第一・第三金曜日
森本義人先生

秋の夜長は歴史を紐解きながら

今年は高松城と彦根城が姉妹城を締結して五十周年、今から約百六十年前の安政五年に彦根のお姫様が松平家にお嫁様に来られたのが縁だそうです。

そこで今回は彦根井伊家の大老、井伊直弼公ゆかりのお菓子をご紹介します。直弼公の青年時代の住居、埋木舎（うもれぎのや）から名づけられた「埋れ木」です。

白餡を薄皮で包み、抹茶と和三盆がまぶされています。中も外も甘いのですが柔らかな口触りと穏やかな和三盆が白餡の甘さを優しく口の中に広げてくれます。

直弼公は埋木舎時代には熱心に茶道を学び「宗観」の名を持ち、この屋敷には直弼が「澍露庵（じゅろあん）」という茶室があったそうである。

幕末の動乱時代を駆け抜けた彦根の大老に思いをはせて上品な甘さで夏の疲れを癒しながら秋の夜長を・・・。



くにもの (23)

理平焼 (松平藩御庭焼)

江戸のはじめ、讃岐高松の藩主として松平頼重が入府してきます。家康の孫という武門の若き殿様は城下施策の中に、雅な京文化へのいざないを色濃く示していき、仁清の流れをくむ京焼物師が招聘されました。

それから三百七十年、初代紀太理兵衛より現在の十四代まで、美しい絵付け茶陶の家は明治の大激動期に大名家の扶持を離れ理平と名を変えながらも、伝統の作風を守り続けています。破風高の窯判を証とした歴代の作品は、松平家伝来のものとして大切に守られ、寺社の信仰の場を荘厳し、旧家の蔵を賑わせながら、美術館の展覧会場や一期一会の茶会を彩ってきました。

そんな中に、楽焼の手腕にもたけた十二代が残した黒茶碗があります。黒釉の力セ肌に悠然と浮かび上がる鯉の絵は長男の初節句を祝う親心でしょうか。武者小路千家愈斎家元より「あととり」の銘をいただいた逸品は、紀太家の弥栄を願う心を今に語り伝える茶碗のひとつです。



舞台や若かりし頃に住んだ埋木舎も見学出来ますので、ぜひ一度行ってみると面白いと思います。

実際に、井伊直弼が使った茶道具などを観ると、どういう茶席をされたのか、二百回以上の茶会記も、きちんと残っているもので、現代でもかなり具体的に想像することが出来ます。時を超えて先人と交流出来るのも茶の湯の楽しみのひとつです。

さて、この高松市・彦根市姉妹都市提携五十周年を記念しての記念事業が玉藻公園で行われる予定です。当日は両市の市長と両家の当主が参加される記念式典の他、パネル展と県立ミュージアムの学芸員による講演会も予定されており。

また、合わせて記念茶会を開催させていただきますので、ご参加下さいませようお願い申し上げます。

記念式典は十三時三十分の開始予定です。

記念茶会について

日時 十月二十五日

第一回十三時より、

第二回十五時より、

第三回十五時三十分より

場所 披雲閣 松の間

なお、詳細に付きましては、十月一日号の市報でご確認下さい。

◆ 十月七日・二十一日(金)午前十時〜十二時
ヤングヤング(子供茶の湯講座)

◆ 毎月第二・第四土曜日

山下純子先生

◆ 十月八日・二十二日(土)午前十一時〜

和菓子講座 高橋初乃先生

◆ 十月十四日(金)午前十時〜十二時

月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

◆ 十月十八日(火)午前十時〜午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

十一月

◆ 書道教室 毎月第一・第三金曜日

森本義人先生

◆ 十一月四日・十八日(金)午前十時〜十二時

和菓子講座 高橋初乃先生

◆ 十一月十一日(金)午前十時〜十二時

ヤングヤング(子供茶の湯講座)

山下純子先生

◆ 十一月十二日・二十六日(土)午前十一時〜

月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

◆ 十一月十五日(火)午前十時〜午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆ 十一月月釜 五人様茶会

紅葉の美しい折、炬が開かれがらりと

雰囲気を変えた茶室でお楽しみ下さい。

日時 十一月二十日(日)

処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)

濃茶 裏千家 阿河宗美

薄茶 裏千家 塩田宗雅

茶席 濃茶・薄茶・点心席

会費・入席時間 十月五人様茶会と同様

「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要ですが、お申し込み、お問合わせは、当財団事務局まで(水曜日休館)

高松市番町二丁目一十二

☎(087) 8266・3355

茶 華 道 ガ イ ド

安部流洗心会四国支部 ☎(0877)86-3442

11/13 栗林公園月釜 席主：安部流洗心会四国支部
 掬月亭 前売600円・当日700円 (入園料別)
 9:00~15:00

表千家同門会香川県支部 ☎(087)845-4638

9/18 支部創立記念茶会 席主：土井宗以・美澤宗包
 玉藻公園披露閣 1,200円 9:00~15:00
 11/13 東讃地区四季茶会 席主：土井宗友
 中條文化振興財団 600円 9:00~15:00

香川大学表千家流茶道部 ☎(080)6348-0559

9/18、10/16 月釜 龍光塾 500円 10:00~14:00

琴平月釜茶道会 ☎(0877)58-9551

9/25 月釜 席主：宮武宗隆
 松尾寺 500円 9:00~15:00
 10/10 金刀比羅宮例大祭奉祝 奉賛茶会
 席主：金丸洋子 (清風流)
 アクト琴平 200円 10:00~15:00
 11/27 琴平町文化祭
 席主：田中宗武・片桐宗恵・上杉宗邦・宮武宗隆
 アクト琴平 200円 10:00~15:00

茶華道一茶流久松会 ☎(087)881-1313

11/6 一茶流久松会茶と花会 席主：角隆一彰
 玉藻公園披露閣 1,300円 9:30~15:00

嵯峨御流 ☎(087)822-1070

12/2~4 嵯峨御流華道香川司所 創立90周年記念華展
 玉藻公園披露閣 無料
 10:00~16:00 (4日は15:00まで)

茶道真千家淡交会香川支部 ☎(0877)58-9551

9/4 坂出分会 月釜 席主：井上宗洋・北地宗直
 勤労福祉センター 500円 10:00~14:00
 9/25 善琴分会 月釜 席主：宮武宗隆
 松尾寺 500円 9:00~15:00
 10/9 善琴分会 茶筌供養 席主：善通寺教授者
 総本山善通寺 500円 10:00~15:00
 10/9 坂出分会 月釜 席主：岩崎宗恵
 勤労福祉センター 500円 10:00~15:00

10/13 多度津分会 観月茶会 席主：多度津分会

多度津町民会館2Fホワイエ 300円 17:30~20:00

11/3 坂出分会 文化の茶会 席主：小西宗寿

翠松閣 500円 10:00~15:00

11/3 丸亀分会 文化の茶会

生涯学習センター 500円 10:00~15:00

11/6 多度津分会 芸術展茶会 席主：多度津分会

多度津町福祉センター2F 500円 9:00~15:00

11/20 善琴分会 働く婦人の家まつり茶会

席主：青年部・善琴班
 善通寺総合会館 300円 10:00~14:00

11/27 坂出分会 月釜 席主：B班社中

勤労福祉センター 500円 10:00~14:00

11/27 善琴分会 護国神社新嘗祭 席主：善通寺教授者

護国神社 500円 10:00~15:00

11/27 善琴分会 琴平町文化祭 席主：琴平教授者

アクト琴平 200円 10:00~15:00

11月 観音寺分会 月釜 観音寺分会教授会

働く婦人の家 500円 10:00~15:00

12/4 多度津分会 月釜 席主：村井宗美

多度津町福祉センター2F 500円 10:00~15:00

12/4 善琴分会 月釜 席主：和善会

樟蔭軒 500円 9:00~14:00

茶道真千家淡交会高松支部 ☎(087)861-3136

9/4 月釜 席主：坂東宗代 中野天満宮
 前売600円・当日700円 9:00~15:00

9/11 栗林公園月釜 席主：北村宗純 掬月亭

前売600円 9:00~15:00

10/2 月釜 席主：塩谷宗恵 中野天満宮

前売600円・当日700円 9:00~15:00

10/2 こども茶会 (高校生担当) 席主：高松学校茶道

文化会館 400円 10:00~14:30

11/6 月釜 席主：百々路宗寿・百々路宗恵

中野天満宮 前売600円・当日700円 9:00~15:00

茶道石州流琴松会 ☎(087)888-5311

10/30 第106回静風会茶会 本席席主：岸宗源
 長尾寺 1,200円 9:00~15:00

11/13 創立第60回記念茶会

第1席 (横の間) 席主：岸宗源
 第2席 (松の間) 席主：琴松会
 玉藻公園披露閣 1,100円 9:00~15:00

茶道石州流宗家高松会 ☎(087)874-5980

9/15 十五夜観月茶会 席主：石州流宗家高松会
 高松国分寺ホール 無料 18:30~20:30

石州流讃岐清水派石州会 ☎(087)898-6569

10/16 宗関公344年祭記念茶会 席主：坂東宗美、
 金丸宗洋・川田宗美・里野宗絹・地下宗利
 玉藻公園披露閣 1,100円 9:00~15:00

武者小路千家香川官休会 ☎(087)851-2258

<香川官休会月釜> 無量寿院 600円 9:00~15:00

9/4 席主：小池公江

11/6 席主：山地久子

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎(087)879-0717

<由佐城月釜茶会> 第2研修室 当日500円 9:30~14:00

9/18 席主：真子宗博 (表千家)

10/16 席主：綾野宗悦 (茶道石州流宗家高松会)

11/20 席主：熊野宗翠 (裏千家)

栗林公園観光事務所 ☎(087)833-7411

9/17~19 第5回秋の高校生大茶会 掬月亭他2会場
 前売300円・当日400円 (入園料別)
 9:00~15:00

中條文化振興財団 ☎(087)826-3355

10/2 10月月釜 五人様茶会 5,000円

席主：裏千家 楽茶倶楽部

11/20 11月月釜 五人様茶会 5,000円

濃茶席主：裏千家 阿河宗美

薄茶席主：裏千家 塩田宗雅

以上の茶会はいずれも点心席を含みます。

詳細は、財団行事予定をご覧ください。

イ ベ ン ト ガ イ ド

さぬき市志度音楽ホール ☎(087)894-1000

9/11 ニューアーティストリサイタル Vol.22
 「若狭知恵フルートリサイタル」 14:00~
 9/25 「上妻宏光Standard Songs 2016」
 三味線とPIANOで奏でる名曲連 14:30~
 12/4 ニューアーティストリサイタル Vol.23
 「森西恵里奈ピアノリサイタル」 14:00~

坂出市建設経済産業課にぎわい室 ☎(0877)44-5015

9/13~17 香風園観月会 香風園 18:00~

9/13~19 さかいで夜めぐり

郷土資料館・鳥瞰庭 18:00~ (一部)

9/18、10/16、11/20 悲運の帝 崇徳上皇のゆかりの地を巡る

坂出市観光案内所 9:30~

坂出市観光案内所 9:00~

10/8 琴平急行電鉄跡を訪ねて

坂出市観光案内所 9:30~

10/8~11/6 坂出アートプロジェクト

坂出市内 (旧藤田外科医院) 10:00~ (料金未定)

10/22、11/5 さかいで三島物語

坂出市観光案内所 9:00~

10/23 菅原道真の風を感じて

坂出市観光案内所 9:10~

11/6 崇徳上皇の足跡をたどる

坂出市観光案内所 9:10~

11/12 加茂山樋古墳群と国宝神谷神社をめぐる

坂出市観光案内所 9:00~

11/19 秋の道路道を歩く

坂出市観光案内所 9:00~

11/27 城山城の遺跡をめぐる

坂出市観光案内所 9:00~

坂出市教育委員会文化振興課 ☎(0877)44-5036

10/8~10 演劇大学inさかいで 香風園、市民ふれあい会館

時間・料金は講座により異なる

坂出市民ホール ☎(0877)45-1505

9/3 映画「人生、いろどり」上映会

10:30~13:30

9/4 第33回 坂出市民大学

13:00~

9/24 映画「カンカンSUN」上映会&サマナイト

コンサート 時間未定

10/2~11/23 第58回 坂出市民芸術祭

催し物によって時間は異なる

坂出市民美術館 ☎(0877)45-7110

9/8~11 毎日児童生徒硬筆展 9:00~

9/16~25 二つさらばさら絵画展 9:00~

9/16~25 アール・ブリュット 9:00~

ふしぎなたね2016 9:00~

10/8~30 現代画壇の世界展2016 9:00~

11/5・6 MOA児童作品展 9:00~

11/16~20 香川県高等学校総合文化祭写真展 9:00~

12/3~11 第54回 坂出市民美術展覧会 9:00~

鎌田共済会郷土博物館 ☎(0877)46-2275

10/8 「天皇と将軍の華麗なるバレー」江戸初期行幸因

屏風の世界」講師：実方素子 (泉屋博物館学

芸課長) 2階講堂 13:30~ (先着40名、要事

前申込 申込期間9/1~10/2)

かまどホール ☎(0877)46-2178

9/3~25 四宮金一展 未来の空間を求めて 10:00~

10/1~23 平岡朋美陶展 さぬきブルー物語 10:00~

11/5~27 津島拓郎「雪景」「夕景」展 10:00~

12/3~25 北岡省三 漆芸・木芸8人展 10:00~

サクラートとどろ(多度津町民会館) ☎(0877)33-3330

9/4 第1回サクラートとどろJr.コンサート

14:00~

10/2 音を奏しよう子どもと大人のリトミック

ワークショップ (3~5歳児と保護者対象、

定員30名、要事前申込)

10/16 リハーサル室 13:30~

11/3、6 第7回 街角コンサート

~音楽のつどい~ 9:00~

丸亀市文化協会 ☎(0877)24-8822

9/3 香川県文化協会西讃支部発表会

ユープラザうたづ 10:00~

9/17~25 第12回うたづに描こう絵画展

丸亀市生涯学習センター

1Fギャラリー 9:00~

10/29-30 芸能フェスタ2016

丸亀市生涯学習センター3Fホール 10:00~

11/5-6 あやうたふるさとまつり協賛・展示・舞台

丸亀市緑歌総合文化会館アイレックス

11/5舞台 (丸亀市文化協会会員による舞台発表)

12:00~

11/5・6 展示 10:00~

<くまがめ文化芸術祭主催展覧会> 丸亀市生涯学習センター

10/8~16 前期展 書・文芸展

1Fギャラリー 9:00~

10/22~11/3 後期展 絵画・写真・工芸

1Fギャラリー 9:00~

11/2~3 生花展 4F講座室1・2・4、5F視聴覚室、

小ホール 9:00~

11/3 お茶会 2F大広間 10:00~

丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141

9/11 丸亀シティフィルハーモニックオーケストラ

第5回定期演奏会 大ホール 14:00~

9/17 ぼっちゃん劇場10周年記念作品

ミュージカル「お選路さんどうぞ」

大ホール 14:00~

10/19 松竹大歌舞伎

大ホール 12:30~、17:00~

10/22、23 プリンセス天功×吉本新喜劇

「NEW イリュージョン新喜劇」

大ホール 22日19:00~、23日16:00~

あーとらんどギャラリー ☎(0877)24-0927

9/9~11 「アートフェア アジア 福岡2016」出展

ホテルオークラ福岡

9/30~10/2 「神戸アートマルシェ2016」出展 神戸メリ

ケンパークオリエンタルホテル13F

10/9~11/6 周豪 展 10:00~

11/17~27 リトルクリスマス展 10:00~

灸まん美術館 ☎(0877)75-3000

9/2~6 陶 三人展 9:00~

9/9~13 長尾陽輝日本画 9:00~

9/16~20 安倍耕治うるし展 9:00~

9/23~27 山野書道教室作品展 9:00~

9/30~10/4 愛情いっぱい手仕事展 9:00~

10/7~11 勝賀瀬寛備前焼陶芸教室展 9:00~

10/14~18 妹背裕展 9:00~

10/21~25 藤井洋子水彩画展 9:00~

10/28~11/1 日本画五人展 9:00~

11/4~8 武蔵野美術大学香川支部展 9:00~

11/11~15 第2回 水彩画同好会展 9:00~

11/18~23 一穂薫作陶展 9:00~

11/25~29 野口恵美子日本画展 9:00~

イベントガイド

香川県立ミュージアム ☎ (087) 822-0247

～9/25 書画のよそおい 常設展示室1 9:00～●
10/8～11/27 KAMEN Japanese Masks 一幽玄の美・能面・常設展示室1 9:00～●

<瀬戸内国際芸術祭2016>

～9/19 連携事業 ワンロード 現代アポリジニ・アートの世界・特別展示室 9:00～●

～9/19 関連 特別企画展覧会 香川漆芸の祖 玉緒谷生誕210周年 香川漆芸美術展 ～その始まりと今～ 常設展示室4・5 9:00～●

10/8～11/27 連携事業 イメージの力 国立民族学博物館コレクションにさぐる 特別展示室 9:00～●

10/8 イメージの力をさぐる 国立民族学博物館コレクションから 講師：吉田憲司（国立民族学博物館副館長・教授） 講堂 13:30～●（要事前申込）

10/8～12/24 関連 特別企画展覧会 れきみん×東京藝大セクション展 瀬戸内の暮らし ハレとケ 常設展示室4・5 9:00～●

<瀬戸内海歴史民俗資料館>

～9/19 60年代JETRO収集海外優秀商品 一香川県保管の驚きの見本群 9:00～●

10/8～12/11 型の造形・デザイン 9:00～●

高松市歴史資料館(サンクリスタル高松) ☎ (087) 861-4520

11/5～12/18 第72回企画展「藩校・講道館（仮称）」 高松藩校講道館の歴史と講道館に学んだ人々の資料を通して近世から近代にかけての高松の教育を紹介 9:00～●

菊池寛記念館(サンクリスタル高松) ☎ (087) 861-4502

9/6～10/10 ミニコレクション展「とと姉ちゃんと暮しの手帖」 3階研究閲覧室 9:00～●

9/17～10/16 第25回文学展「生誕120年記念 宮沢賢治」 4階企画展示室 9:00～●

9/17 特別講演会①「祖父 清六から聞いた 宮沢賢治」 講師：宮澤和樹（麻林風舎 代表取締役・賢治弟清六氏の孫） 講堂 10:30～●（先着200人）

9/17 特別講演会②「今求めらるる宮沢賢治の宇宙観 宇宙意志と科学・宗教・芸術」 講師：山根知子（ノートルダム清心女子大学教授） 3階視聴覚ホール 13:30～●（先着200人）

9/22 特別行事 宮沢賢治作品朗読会①「セロ弾きのゴーシュ」 出演：NHK高松放送局アナウンサー・キャスター 3階視聴覚ホール 14:00～●（先着200人）

9/24・25 特別行事 プラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」 KAGAYA作 上映会 3階視聴覚ホール 11:00～、14:00～●（先着200人）

10/2 特別行事 石の民俗資料館 presents 宮沢賢治 ランプシェードを作ろう！ 10:00～●

講師：高松市石の民俗資料館 3階第1集客室（要事前予約・先着20人小学生以上・小学生は保護者同伴）

10/8 特別行事 宮沢賢治作品朗読会②「どんぐりと山頂」 注文の多い料理店 他 出演：朗読ユニット「半熟姉妹」 3階視聴覚ホール 14:00～●（先着200人）

11/18 記念講演会 講師：林真理子（直木賞作家、直木賞選考委員） 対談：林真理子×菊池寛樹 第1小ホール 15:30～●（入場整理券を10月以降に先着順で配布）

<文芸講座> 3階第1集客室 13:30～●

9/3 「平家物語・木曾最期」にみる美 講師：小野泰子（元県立高松市立校長）

10/1 「西行物語」を読む（V） 講師：石川一（奈良大学文学部教授）

11/5 高見順賞の詩人 塔和子の詩の世界 講師：平峯春香（塔和子の会会員）

高松市生涯学習センター ☎ (087) 811-6222

9/8・15 古文書解読講座～江戸時代の日記を読む～ 講師：野中寛文（香川県立文書館資料調査委員会委員） 大研修室 10:00～●

9/13 郷土の伝統工芸 かがり手まりを作ろう（模倣：千鳥の花） 講師：讃岐かがり手まり保存会 大研修室 13:00～●

9/15・29、10/20・27、11/3・24 やさしい切り絵教室 講師：田端五郎（切り絵作家） 実習室 10:00～●（要材料費）

9/23、10/7・21、11/4・18 簡単な脳トレ！立体的紙でなにつくろ？ 講師：木村孝（一級紙技術士）実習室 13:30～●

9/28 食を学び料理を愉しむ！ ～ユネスコ無形文化遺産「和食」再発見～ 講師：山本直（和食文化 代表取締役・料理長） 小研修室・料理「二機」 10:30～●

10/6・13・20 歴史に学ぶ人生の知恵（全3回） 講師：上原敏（歴史研究者）大研修室 13:30～●

11/15・22・29、12/6・13 民俗学講座 講師：谷原博信（四国学院大学非常勤講師）ほか2名 大研修室 10:00～●

<市民大学2016> 多目的ホール

9/10 「人生をもの語るの意味・しなやかに再構成する」 講師：やまだようこ（立命館大学特別招聘教授・京都大学名誉教授） 13:30～●

10/1 「戦国真田氏の軌跡～近世大名への道程～」 講師：丸島和洋（慶応義塾大学文学部非常勤講師） 13:30～●

10/1 「装置としての学校唱歌」 講師：山東功（大阪府立大学21世紀科学研究機構教授） 14:50～●

<まなび映画CAN>多目的ホール 13:00～●
9/27 ⑥「さぬき映画祭2016優秀企画上映作品『帰ってきまひ』」「昭和名人芸大③」

10/28 ⑦「マイ・シスターズ・キッズ」 13:30～●
<古典文学講座「方丈記」をもう一度読む>大研修室 10:00～●

10/5・19・26 第1部（全3回）講師：奈良正（元香川大学非常勤講師）

10/27、11/3・10 第2部（全3回）講師：矢野坂典之（元県立学校校長）

11/17・24、12/1 第3部（全3回）講師：矢野坂典之（元県立学校校長）

栗林公園観光事務所 ☎ (087) 833-7411

11/19～28 栗林公園 秋のライトアップ 栗林公園内 21:00まで（入園は20:30まで）●

玉藻公園 ☎ (087) 851-1521

9/10 菊作り講習会 披露閣 披露閣

10/5～14 アートナイト フェスティバル 披露閣 披露閣

10/15～11/14 菊花展 二の丸跡 披露閣オリジナルコンサート2016 披露閣

10/23 屋島ライオンズクラブ茶会 披露閣

ミュージズホール ☎ (087) 833-0013

9/4 桂こけ枝独演会 13:30～●

9/17 第10回香川県守り優秀作品発表会 13:00～●

10/23 第26回グレンツェンピアノコンクール本選課題曲公開レッスン 13:00～●

10/29 かがわ教育の日つどい 時間未定●

11/13 香川県教育会館ミュージズホール創立30周年記念公演 瀬戸内海の鼓動CONCERT 13:30～●

11/20 香川県高校放送コンテスト 9:00～●

高松テルサ ☎ (087) 844-3511

10/15 500人のうたごえ喫茶 ホール 13:00～●

高松市文化財課 ☎ (087) 839-2660

9/11 ひょうげ祭り 香川町漁業集落研修センター～新池 14:00～●

9/22 田井の子ども神楽 六萬寺（牟礼町）12:00～●

10/15～11/13 第61回高松市菊花展観覧会 玉藻公園 8:30～●（要入園料）

<「探究」たかまつ通彦 人・もの・場から高松の歴史と地域を考える>

9/3 第1回「讃岐型前方後円墳」を提唱する意義（仮） 高松市中央図書館3階視聴覚ホール 10:00～●

10/29 第2回 東アジアの積石塚と石積尾山古墳群 高松市中央図書館3階視聴覚ホール 10:00～●

11/19 第3回 現地説明会（稲荷山北端1号墳・稲荷山1号墳） 集合場所・時間未定●

<ふるさと探訪>

9/25 「郷土の歴史を訪ねる」（予定） 集合場所未定 9:30～●

10/23 「庵治町の社寺を訪ねる」（予定） 集合場所未定 9:30～●

11/27 「多度津の史跡を訪ねる」（予定） 集合場所未定 9:30～●

高松市文化芸術振興課 ☎ (087) 839-2636

<サンポートホール高松>

9/19 新国立劇場バレエ団 子どものためのバレエ劇場「白鳥の湖」 大ホール 13:00～●

10/2 瀬戸フィル ティータイムコンサート ハロウィンスペシャル 第2小ホール 13:00～15:30～●

<高松国分寺ホール>

9/18 やさげなハートフルコンサート 14:00～●

10/2 国分寺寄席（落語会） 14:00～●

10/8 エンタテインメントコンサート 18:00～●

10/15 趙磊（ツァオレイ）二胡コンサート 18:30～●

10/21 岡林信康 弾き語りライブ2016 19:00～●

10/29 宝塚OG公演 18:30～●

10/30 4Stars with 杉ノ内由紀 18:30～●

ウィンナーオペレッタをあなたに 18:30～●

NHKふれあいギャラリー ☎ (087) 825-0160

9/6～11 財田町写真同好会作品展 9:30～●

9/13～18 木太陶芸教室作品展 春夏秋冬陶会 9:30～●

9/27～10/2 第20回西文人水墨画教室展 9:30～●

10/11～16 菜浪（さなみ）グループ書展 9:30～●

10/18～23 NHK文化センター水墨画・墨彩画作品展 9:30～●

10/25～30 ばら香るパレル展 ばらとガーデニング協会（電報ばらクラブ共催） 9:30～●

11/8～13 大河ドラマ「真田丸」巡回展 9:30～●

NHK高松放送局 9:30～●

11/29・12/4 和みの書 工藤筆耕教室 9:30～●

高松三越美術館 ☎ (087) 825-0738

8/30～9/5 中島潔 版画展 10:00～●

9/6～12 備前 北野勝彦 作陶展 10:00～●

9/13～19 山本正英 油絵展 10:00～●

9/20～26 中里隆と 10:00～●

9/27～10/3 藤田嗣治展 10:00～●

10/4～10 タケダアキコ ニホン画展 10:00～●

10/11～17 眞清水福山 茶陶展 10:00～●

10/18～24 千住博 版画展（第1週） 10:00～●

10/25～31 千住博 版画展（第2週） 10:00～●

11/1～7 成田康 油絵展 10:00～●

11/8～14 九谷焼 伊豆蔵幸二 10:00～●

11/15～21 玉野鈴三 彫刻展 10:00～●

11/22～28 藤井勉展 10:00～●

11/29～12/5 中西繁 絵画展 10:00～●

かきり園 ☎ (087) 821-5957

9/14～18 古今茶湯総合展 恒例となりました新古茶道 具五百余点を一同に展示即売致します（大特価 コーナー設置） 御坊町福善寺2階 10:00～●

桜ショップ小松店 ☎ (087) 831-8866

10/21～27 「小泊良 うつわ展」 沖繩の陶芸家 小泊良氏の作品展10:00～●

ギャラリーen ☎ (087) 851-3711

10/21～31 阪口鶴代 絵画展 10:00～●

11/7～12 山口咲 漆器展 10:00～●

11/10～20 野村レイ子 木のろうけつ草木染展 10:00～●

11/16～23 水垣千悦 陶器展 10:00～●

内町ギャラリー Tamamo ☎ (087) 822-1037

9/16～19 『夕陽の陶芸家 福岡伸彦展2016』 描き落とす技法による夕陽の情景は「明日への希望」 陽は又昇る。NHKドキュメント放映。スイス、アメリカで個展。2015年ハート&アート・新国立美術館「特別選定」受賞10:00～●

9/21～25 『ひないる展』吉本徹也 童心がひびくやまと絵、日本の文様と自然の理を描く 11:00～●

10/1～5 Fur & Leather展～SUN RASCAL 東さぬき市津田町の工房から創業50周年を記念し職人の手仕事で丁寧に仕上げた作品を展示 10:00～●

10/6～10 「三人展」藤村英代（組紐）、山口数馬（皮革・アクセサリ）、Ben（オブジェ） 10:00～●

10/18～23 「遊牧民の手織履～キリム展」トルコの各地から集められた貴重なオールキリムの絨毯、キリム雑貨やハンドメイドアクセサリ 10:00～●

10/24～30 「大洲委子と栗林桐子二人展」藍・柿・手染のオシャレな帽子、古布の袖でモダンなイメージ 10:00～●

11/3～6 「漆とゴールドのジュエリー展」 漆器利住子 10:00～●

11/7～11 ももたろう「生活骨董展」手元において毎日オシャレにしたい江戸のもの～昭和のもの 9:00～●

11/15～20 「4mode The Exhibition of Artful Felt & Jewelry」香川在住のフェルト作家と陶楽中心に活躍する2人の金工作家のコラボレーション展 10:00～●

高松市香南歴史民俗館 ☎ (087) 879-0717

<2F市民ギャラリー>

9/3～25 企画展「守る・攻める 城と館展」 9:00～●

10/1・2 共催展「第20回 土遊会 陶芸展」 9:00～●

10/10～16 共催展「第17回 香南文化交流展」 9:00～●

10/22～12/4 企画展「日本刀展（仮称）」 9:00～●

高松市塩江美術館 ☎ (087) 893-1800

～12/18 [平成28年度第II期常設展]

生きること、生きるもの 9:00～●

9/10～10/16 [企画展] 上西竜二展（仮） 9:00～●

10/18～23 [貸展] 三原敏文・須藤和利 二人展（仮） 企画展示室 9:00～●

10/29～11/13 かがわ・山なみ芸術祭2016 塩江町工芸アール時と共に 9:00～●

11/19～27 [貸展] 戸田由美子 写真展（仮） 企画展示室 9:00～●

高松市石の民俗資料館 ☎ (087) 845-8484

9/16～25 共催展「長月展」 企画展示室 9:00～●

10/8～11/13 企画展「石の里のアートたち」テーマ・庵治石 Part15 芝生広場 9:00～●

10/10 SWJOジャズコンサート エントランスホール 14:00～●

11/5 ワークショップ「石割アート」 講座研習室 13:30～●

10/8～11/13 企画展「匠雲の仲間たち」 企画展示室 9:00～●

10/15 音楽の花束 エントランスホール 18:30～●

11/18～27 共催展「染色すなご会作品展（仮）」 企画展示室 9:00～●

9/16、10/14、11/11 古文書を読む会（5）～（7） 江戸時代の和歌等を読み解いて 講師：加藤 優（元徳島文理大学教授） 講座研習室 14:00～教材費要

土庄町教育委員会 ☎ (0879) 62-7013

11/5～6 土庄町町民文化展 土庄町総合会館 9:00～●

●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。（記号表示は判明したもののみ）

上記予定は変更する場合もあります。

「文化通心」第92号は12月1日発行です。次の期間（12月1日から2月末日）の情報を11月10日までにお知らせ下さい。☎ (087) 826-2212

■財団のお知らせ

財団賞についてのお知らせ

毎年、財団の設立記念日の十月一日に行われており、今年で二十三回目となります。財団の財団賞は、大変残念ながら該当者無しという事になりました。

讃岐の風土が育てた数多くの素晴らしい文化に対する県民の意識を高め、良質の文化作りに貢献したいという財団の設立目的の中で、財団賞は文化活動奨励事業の一環として設置されました。

県内のかくれた文化の発掘。我々に残されている伝統文化の継承。その推進力となつて、人知れず努力を重ねて来られた方を出来るだけ発掘して、その功績を讃えたいという願いが込められております。

今回、該当者無しという経緯に付きましては、いろいろな原因があると思いますが、改めて、ご推薦いただく方法を考え直して参る所存です。

改めて受賞候補者の要件に付いて申し添えておきますと、県内在住者及び県出身者で、地域文化の振興に特に貢献したと認められる個人及び団体で、原則として十五年以上継続している個人及び団体を対象としています。

該当されると思われる候補者の心当たりがある方は、財団事務局まで、お知らせ下さい。

今後とも、讃岐の文化作りの為に、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

第三回あ・うんの数寄「若人茶会と讃岐もの」について

現代の茶の湯の環境

茶の湯には、戦後の学校教育の中で失われてしまった日本の伝統文化のいろいろな要素がタイムカプセルのように残されています。

「文化は人なり」と言う言葉があります。人は人と直接交流する事で学び、また、新たな発想を得て行くと思います。そういう意味で茶の湯の場は、歴史的に見ても重要な場となりました。直心の交わりの中で胸襟を開いて話が出来る機会を作る。というのも茶の湯の大事な要素だと思えます。

十年間続けて来ましたが「大茶会」では、たくさんの方の茶人の皆様にお世話になりながら、流派を超えた交流の楽しさを体験していただきました。イベント的に実施したのは、茶の湯とは縁のなかつた人にも、体験していただいて、興味を持っていただきたいと考えたからです。

現代は、子ども達にとっては大変な時代です。伝統文化の世界に限らず、職人さんの仕事でも、後継者がいないという悩みを抱えているという話を良く聞きます。そうした中でひとつの提案というのがこの「ヤング茶会と讃岐もの」です。

今後はちゃんと日本語で「若人茶会と讃岐もの」と名前を変えたいと考えておりますが、高校生の茶道部の皆さんを中心に、大学生や小・中学生も含めて、もつと茶の湯の楽しさを深めていただきたいという考えから生まれました。

特に高校生の皆さんは、これから進学や就職を目前にして、大人になる直前の子ども達です。出来れば学校を卒業して

中條文化振興財団

編集後記

大きな石、小さな石、角ばった石、丸い石、くり抜かれた石、重ねられた石、さまざまな形をした石たちが灯りをともしている。むれ源平石あかりロードの約1キロメートル旧庵治街道沿いに置かれている作品たちです。

源平合戦の歴史と伝統の地場産業と芸術がコラボしたこの催しも12回となりました。道沿いに並べられていたローソクの揺れるあかりに導かれて歩いた始めの頃を思い出します。まさに石あかりロードでした。

今は、色とりどりのLEDライトが灯されていますが、形造られた石と灯を通して出展者の心を思うひとときがそこにはあります。

秋の夜長にお出かけして見て下さい。サヌカイトと共に香川を代表する庵治石の彫刻を！

「声・情報お寄せください」

〒760-0017 高松市番町二丁目一―二
公益財団法人中條文化振興財団編集部
TEL (087) 8266・3355
FAX (087) 8266・2212
info@chujo-zaidan.or.jp